

6 ウォークラリー

ウォークラリーとは、グループで協力して地図に記載されたチェックポイント(CP)を探し出し、CP内に隠された問題を解いて回り一定時間内にゴールすることを目指す野外活動である。

1 ねらい

- (1) 自然の中で活動することにより、自然への興味関心と愛護の心を養う。
- (2) グループ単位での活動を通して、連帯感や協調性を養う。
- (3) 与えられた課題を解決することにより、様々な発見や知識を知る喜びを体験し、観察力・注意力・洞察力・判断力を養う。
- (4) 地図を読み取りながら実際の地形を理解し、指示された目的地へ到達するためのルートを選択・決定する力、行動力を養う。

2 コース・対象及び最大人数

- | | | |
|--------------------|---------|------|
| (1) 初級コース (A～Dコース) | 小学3年生まで | 160人 |
| (2) 中級コース (A～Dコース) | 小学5年生から | 160人 |
| (3) 上級コース (A～Dコース) | 中学1年生から | 160人 |

※初級、中級、上級はそれぞれ課題の難易度が異なります。

3 所要時間 90～160分程度 (説明の時間を含む)

4 準備

- (1) 用具・・・解答用紙、地図、鉛筆、バインダー、ゼッケン
- (2) グループ編成・・・4人～
- (3) 時間配分・・・スタート時刻、スタート間隔時間、ゴール時刻 (制限時間)
スタート順を決定する。
※ 時間に余裕のあるように設定する。
- (4) 団体との連携・・・グループ編成、服装、集合場所、実施コース
引率者の役割 (活動中の安全指導、出発合図、ゴール受付、集合・整列の指導)、見学者の指導等について連携を取っておく。

5 指導の実際

指導区分	指導内容	留意事項
導入 (20分~30分)	1 あいさつ 2 事前指導 (1) グループ編成の確認と用具の配布 (2) 活動のねらいの説明 (3) 活動の方法の説明 ① 活動の流れについて ② コースの歩き方 野外活動コース、案内板の説明 ③ チェックポイント（CP）の見つけ方、見分け方 ④ 地図の見方、地図記号の説明 ⑤ 問題の解答方法 CP内に隠された問題を解き、解答用紙に記入する ⑥ スタート・ゴールの方法 スタート順・時刻・間隔時間、ゴール時刻、ゴール受付場所、ゴール後の集合場所等について ⑦ 順位の決定 採点の仕方と同点の場合の順位決定について (4) 安全指導 ① コースの特徴と危険箇所及び危険防止について（木株、石ころ、滑りやすい箇所、崖など） ② 冒険の森・チームワーク施設の利用禁止について ③ 負傷などの事故発生時の対処 ④ 必ず班ごとに行動する。 ⑤ 道に迷った場合の行動の仕方 ⑥ 注意すべき毒虫、動物、植物等について ⑦ にわか雨、落雷への対応 ⑧ 水分補給、トイレの利用について	・チームワークを大切に するよう指導する。 ・問題用紙はCPの中に 戻すように指導する。 ・CP、案内板等にいた ずらをしないように指 導する。 ・安全については、十分 に指導する。
展開 (70分~80分)	3 スタート (1) グループごとに決められた時刻（1～5分間隔）で出 発させる。 (2) スタートの合図の係に見学者や引率者を活用する。 4 本活動 (1) コースを回ってCPを見つけ、問題を解く。 (2) 安全対策を図る。 5 ゴール (1) 受付場所の設営をする。 (2) 受付の役割分担をし、その要領を説明する。 (3) ゴールしたグループごとに解答用紙を受付に提出し てもらい、到着時刻の記入および採点をする。 (4) 用具等の返納をさせる。	・出発の工夫、役割分担、 声かけ、準備運動 ・引率者は安全対策のため 巡視する。 ・先にゴールした者への 指示（待機場所や健康管 理に関すること）
終末 (30分)	6 反省と評価 (1) 成績発表と表彰をする。 (2) ねらいの達成状況等について講評（まとめ）をする。 ① 自然への興味関心や愛護の心を養えたか ② 連帯感や協調性を養えたか ③ 観察力・注意力・洞察力・判断力を養えたか ④ 地図を正確に把握し、ルート選択に活かしたか ※解答用紙を研修生に返却し、正解を発表してグループ ごとに反省と研究をさせたりする場合もある。 7 あいさつ	・解答のポイントを簡単 に説明する。 ・用具等の後始末